

各地域支え合い協議会の取り組み状況について



横須賀市内配置の生活支援コーディネーター

各地域の協議会紹介



<大津地域支え合い協議会>

- ・大津支え協だよりNo8春号発行に向けて、内容を検討中。今回の号では、活動者の生の声を届けていく予定。
- ・来年度、第2回生活支援団体交流会を実施予定。

<追浜地域支え合い協議会>

- ・包括支援センター主催の会議「人生100年時代に向けての地域づくりや資源開発を共に考える」に協議会もコラボして参加した。
- ・来年度は、生活支援団体の活動者をどう増やすか考えていく。

<田浦地域支え合い協議会>

※田浦・長浦の2地区で座談会

【田浦座談会】

地域のネットワークで支えたひとり暮らし高齢者の事例を共有。

【長浦座談会】

- ・地域の困りごとに対し、各町内会長が解決に向けて働きかけを行う。
- ・コロナダウンの克服方法を出し合う。

<浦賀地域支え合い協議会>

- ・協議会と浦賀地区社協共催で「認知症」と「介護予防」についての研修会を社会福祉推進委員を対象に10月に実施した。
- ・民生委員対象に、地域のサロンに笑いを届ける目的で2月に研修会を行った。

<北下浦情報ひろば>

毎月コミュニティーカフェにて地域の話題や困り事(ごみ問題・詐欺被害等)について情報共有や意見交換

<久里浜地域支え合い協議会>

・久里浜地域全世帯、(29町内会)への「支え合いアンケート」を実施中。構成員全員で、アンケート結果の入力を日々がんばっている。

<西海岸もりあげ隊>

・今年度から新たに加わった「福祉を語ろう会」が本格始動。
大楠地域にボッチャを広げよう企画を実施中

<武山あった会>

・久里浜地域支え合い協議会が行った講演会に参加。後日、登壇した町内会長の地域に訪問して意見交換を行った。
・来年度、武山すごろくを作成予定。

◇協議会トピック ①

【浦賀地域支え合い協議会】

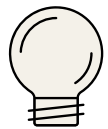
構成員からの声

◇コロナをきっかけに地域で認知症の人が増えた

◇地域でいきいきサロンを再開したけれど、いつもマンネリ化している。サロン開催が負担



認知症についての研修企画してみよう！



サロン活動のヒントになるような研修会、そこに笑いも届けられたらいいね！

皆さん、いいなって
思ったもの持って
帰ってね！
サロンでやってみて
ね！



講師は
笑い療法士
さん

◇協議会トピック ②

【西海岸もりあげ隊】

◇構成員からの声で分科会方式で話し合い

◇構成員より「協議会として何かやりたい」

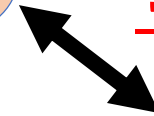


3つのチームでワイワイガヤガヤ



「古い映像チーム」

コラボ



「映画で
つながるチーム」

「福祉を
語ろうチーム」

大楠地域の町内会で ボッチャ企画

◇気軽に集えるふれあいのある居場所づくりを目指して構成員が動きだす

◇町内会長も町内会役員も趣旨に賛同！！

◇構成員と町内会役員でまずはボッチャ体験！！

「これは楽しい！！」



町内会長のつばやき・・・

◇ボッチャを通じて住民の皆さんが顔見知りとなり、災害や震災などの際に助け合える関係性をできたらいい

◇「いつか大楠地域でボッチャ大会を開催したいなあ」

「古い映像チームとコラボしようよ」

◇町内会でのボッチャ企画は順調

◇西海岸もりあげ隊（協議会）の際に、古い映像チームから昔の大楠地区の写真を見せてもらい、一同感動！！ 構成員がひらめいた！

◇「町内会のボッチャの時に古い映像チームとコラボし、会場に写真を展示したらいいんじゃない？」

住民のアイデアが 住民の心を動かした

コラボ企画が決定すると、構成員のみなさんは展示方法や展示する写真の選定などでいきいきと動き出す

- ◇活動の場が広がる
- ◇介護予防につながる



～通いの場づくりは
つながりづくりの第一歩～

通いの場＝ふれあいの居場所

◇人間関係が希薄になり、地域で孤立する人も増えている現状

◇ほとんどの地域で意識的に集まりをつくる必要性が高まってきている

◇ふれあいの居場所はお互いを自然に認め合い、共感が生まれ、そして自然な助け合いに繋がっていく → お互いさまの関係



地域にある宝物(人・場所・モノ) の小さな情報を教えてください

◇高齢者の自助(健康づくり)と互助(生活の支え合い)の取り組みは地域づくり

◇集いの場が再開できない地域もまだまだある

◇SCは地域の困りごとに耳を傾け、住民さんと共に知恵を出し合いながら活動している

◇地域の身近な情報が地域活動を支える糧になる

